

要 望 書

東京電力株式会社 殿

宮城県における損害賠償について（要望）

東京電力福島第一原発事故による放射能汚染は福島県だけでなく私たちの住む宮城県にも甚大な被害を及ぼしています。特にここ宮城県丸森町筆甫地区は福島県相馬市・伊達市との県境に位置しています。放射能は県境でとまるものでなく紛れもなく私たちのふるさとを汚染しました。どうして同じ放射能で汚染されたのに、県で対応を変えるのですか。私たちは福島県民ではなく宮城県民だということだけでまったく向き合えてもらえてきていません。東京電力は今まで宮城県民に何をしてくれたのでしょうか。放射能をばらまいただけで何もしてきてないではないですか。

放射能による健康不安による住民の自主避難は福島県同様に起こっています。地域の貴重な若い人材が流出しています。若者・子どもを失ったこの地域に未来はあるのでしょうか。避難したものと残ったものとの間でも余計な心のかい離を生み出しました。自主避難したいができない若い世帯もあります。不安に怯えこの場所を離れたいが、それができない。その方々の心があなた方にはわかりますか。

地域の豊かな自然を生かして仕事をしてきた人々の怒りがわかりますか。酪農家はその牧草が汚染されました。林業の方々はその生活の糧となる山の木々が汚染されました。農業者は自分の育てたものが本当に安全なのかわからないまま苦しみながら農作物を育てています。地域の豊かな自然を生かして仕事をしてきた人々はみないつ廃業せざるをえないのかと悩み苦しんでいます。

地域の観光業も廃業の危機に立たされています。今年度の地域への観光者は通常の半分もいません。しかし、宮城県において観光業は補償対象にもなっていないではないですか。机上の論理で線引きをしないでください。

放射能汚染によって損害をおっているのは事業者だけではありません。ここ丸森町筆甫地区は自然の恵みを生かして全ての住民が暮らしてきました。山からの豊穡な水が私たちの飲み水です。井戸水・地下水・山からの引き水、みなこれらを飲んでいいのかと悩み苦しんでいます。水だけではありません。山から木を切り、それを燃料として薪ストーブや薪風呂に利用してきました。そしてその灰からは数万ベクレルという高い放射線量が出ています。私たちはこの地域で暮らすにあたりこのように地域の自然の恵みを受け暮らしてきました。それが不安材料になるこの苦しみをしっかりと理解してください。

そしてあなた方は地域の未来もつづそうとしています。私たち筆甫地区民は、「自然の恵み、人のつながり、悠久のふるさと、筆甫」をスローガンに、日本の中山間地のモデルとなるべく、豊かな地域資源を活用した地域づくり、産業づくり、若者・移住者の定住による後継者の育成など様々な取組を行ってきました。

しかし、放射能汚染により、地域資源の活用、移住者・若者等の定住活動の推進など

筆甫地区が将来に渡って存続していくために地域一丸となって取り組んできた事業がすべて台無しとなってしまいました。帰ってくるはずの後継者が戻ってこない家も多くあります。若者や子どものいなくなった地域に未来はあるでしょうか。私たちは地域の未来を失ったように感じています。誰もがこの地域の未来を案じています。東京電力にはこの地域の苦しみを受け止め、最大限の補償を個人だけでなく地域に対しても行ってください。

福島第一原発の事故からすでに10ヶ月以上が経過しています。しかし宮城県における放射能汚染における賠償の取り組みは何も行われていないと同じです。一刻も早く損害賠償の指針をあらため汚染された地域に住む誰もが納得いくような対応をしてもらえるよう要望いたします。

特に宮城県に住むものとして次の点を強く要望いたします。

- 1 放射能汚染に関してのあらゆる住民支援については県境で区切ることなく、放射線量等を基準に県による公平性を欠くことのないよう強く要望します。
- 2 原子力損害賠償紛争審査会が決定した自主避難者並びに滞在者への一律8万円、18歳以下並びに妊婦は40万円という賠償を福島県23市町だけに行うのは著しく公平性に欠けています。丸森町はもちろん宮城県内の他の市町においても賠償を行うよう強く要望します。
- 3 宮城県における農業・林業・観光業・商工業などのあらゆる業種の損害賠償請求にしっかりと対応してもらうことはもちろんのこと、事業者だけでなく、放射能汚染のある地区に住む人々は不要な出費を行っています。これらについても損害賠償の求めに応じしっかりとした補償をするよう強く要望します。
- 4 その他丸森町筆甫地区はもちろん宮城県民からのあらゆる要望に対し真摯に対応するよう強く要望します。

以上について東京電力の見解並びに対応を文書にて回答を求めます。回答期限は平成24年2月21日(火)とさせていただきます。東京電力の真摯な対応を望みます。

平成24年1月21日

宮城県伊具郡丸森町筆甫地区

筆甫地区振興連絡協議会

会長 引地 武 男

